

SAP Ariba

機能の概要

取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

Richard Vermeij、SAP Ariba Network ソリューション管理

一般提供予定: 2021 年 5 月

CONFIDENTIAL



目次

バイヤー向けの概要

- 1.1 機能の概要 バイヤーのビジネスチャンスのために、新機能の範囲とメリットを理解します。
- 1.2 SAP Business Network の名前変更 バイヤーのビジネスチャンスのために、Ariba Network が SAP Business Network の一部になることの影響を理解します。

バイヤー向けの概要 1.1 機能の概要

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

今までの課題

Ariba Network でのサプライヤオンボーディングプロセスは、 取引開始依頼 (TRR) レターによる参加依頼を受信したサプ ライヤにとって、混乱の原因となることがあります。

- ユーザーは「Ariba」が何であるかがわからず、顧客からの 取引開始依頼の電子メールは、処理が必要な重要なもの として認識されません。
- ユーザーは、既存のアカウントを使用するのか、新しいア カウントを作成するのかを判断できません。
- 電子メールには複数のリンクが含まれているため、ユー ザーは取引関係を承認するための正しいリンクを見つける ことができません。
- ユーザーは、バイヤープログラム固有の質問に回答する ためにバイヤーのオンボーディングチームに直接問い合 わせることができません。

この結果、イネーブルメントサイクルが長くなり、登録率が低 下して、サプライヤイネーブルメントの労力とコストが増加しま す。

対象ソリューション

Ariba Network、バイヤーおよびサプライヤ

SAP Ariba で問題解決

サプライヤオンボーディングプロセスの強化により、以下 の重要な機能が提供されます。

- 1. 会社および連絡先情報をカスタマイズ可能な、バイ ヤーのブランドが付いた新しい取引開始依頼レター
- 2. 一致するユーザーアカウントまたは既存のベンダアカ ウント (もしくはその両方) が自動的に一覧表示される、 洗練された新しいオンボーディングランディングペー
- 3. インテリジェントな検証およびエンリッチメントを備 えた、合理化された新しいアカウント作成ページ
- 4. このオンボーディングサービスの名称変更 (Ariba Network から SAP Business Network に変更されます)

主なメリット

- (たとえば 3 週間のオンボーディング普及期間内の) 登 録の完了数の増加
- 平均登録サイクル時間の短縮
- ・ オンボーディングに関する全体的な労力(必要な連絡 の回数、サプライヤのサポートチケットの数、エスカ レーションの数など) の低減

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべ てのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様 が設定する必要があります。詳細については、必須の変 更およびガイダンスを参照してください。

設定には、「管理者」の役割または「サプライヤイネーブ ルメントプログラム」の権限を持つ役割が必要です。 詳細については、「バイヤーアカウントの設定」セクション を参照してください。

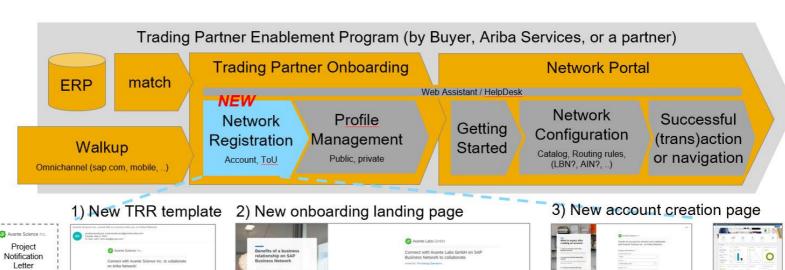
前提条件と制限事項

- Ariba Network の TRR レターにのみに適用されます。 Sourcing, SLP (Supplier Lifecycle and Performance)、簡易サプライヤ登録 (スタンダードアカ ウント) の参加依頼には適用されません。
- 機能の完全なテストはバイヤーのテストアカウントでは 行えず、本稼働アカウントでのみ可能です。
- 現在、Supplier Invitation API (NS-6978) では、TRR の「送信者」の組織名/住所を設定するための「住所 ID はサポートされていません。これはバックログに含 まれています。

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - 機能範囲

この機能により、取引関係依頼レターを使用したサプライヤへの参加依頼のサプライヤオンボーディングエクスペリエンスが強化されます。この新しいエクスペリエンスの対象となるのは、1.会社および連絡先情報をカスタマイズ可能な、バイヤーのブランドが付いた新しい取引開始依頼レターテンプレート、2. 一致するユーザーアカウントまたは既存のベンダアカウント (もしくはその両方) が自動的に一覧表示される、洗練された新しいオンボーディングランディングページ、3. バイヤーのベンダ情報が事前に入力され、多数のデータ入力検証がサポートされる、合理化された新しいアカウント作成ページの3つのページです。さらに、サプライヤユーザーは、Ariba Network の代わりに SAP Business Network がソリューション名として段階的に導入されていることを確認できます。これは、統一されたネットワークを構築するという SAP の方針を表すものです。



オンボーディングエクス ペリエンス全体でバイ ヤーのブランドをサポー ト

Benefits of a business relationship on SAP Business Network Connect with Avante Labs Gross P Business Network to Collaborate, Busine

The state of the s

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - 地域のオンボーディングプログラムをサポート

バイヤーは、バイヤーのブランドが付いたこの新しい取引開始依頼レターテンプレートを使用して、サプライヤとの「汎用」のコミュニケーションではなく、地域のオンボーディング プログラムを実行することができます。バイヤーは、ロゴだけでなく、「参加依頼に記載する会社」(サプライヤの販売先) と「参加依頼に記載する連絡先」(各地域の電話番号や電 子メールアドレスなど)をカスタマイズすることができます。その後、バイヤーは、カスタマイズした TRR レターを、通常サプライヤが取引を行っている地域の取引先から送信する ことができます。

地域のオンボーディングプ ログラムを作成



Network の会社プロファイル

Avante Science Inc.* 1000 Ariba Way, Suite 100 Sunnyvale, CA 94085 USA

ロゴ:

Avante Science Inc.

Info@AvanteScience.com

*Avante Science Inc. およびそのロゴは、説明のみを目的としており、実際の顧客または会社ではありません。

・北米向けのカスタマイズ

参加依頼に記載される会社: Avante Science USA Inc. Pittsburg, Pennsylvania USA

□ゴ: Avante Science USA

参加依頼に記載される連絡先: North America Procurement Office US-eConnect@AvanteScience.com

ヨーロッパ向けのカスタマイズ

参加依頼に記載される会社: Avante Labs GmbH Berlin, Germany

参加依頼に記載される連絡先: Avante Europe Group Procurement EU-eConnect@AvanteLabs.de

フェーズ 1 VUF: 北米

ベンダ 1 (米国)

ベンダ 2 (カナダ)

ベンダ 3 (米国)

...





フェーズ 2 VUF: ヨーロッパ

ベンダ 9 (ドイツ) ベンダ 10 (スペイン) ベンダ 11 (フランス)

...



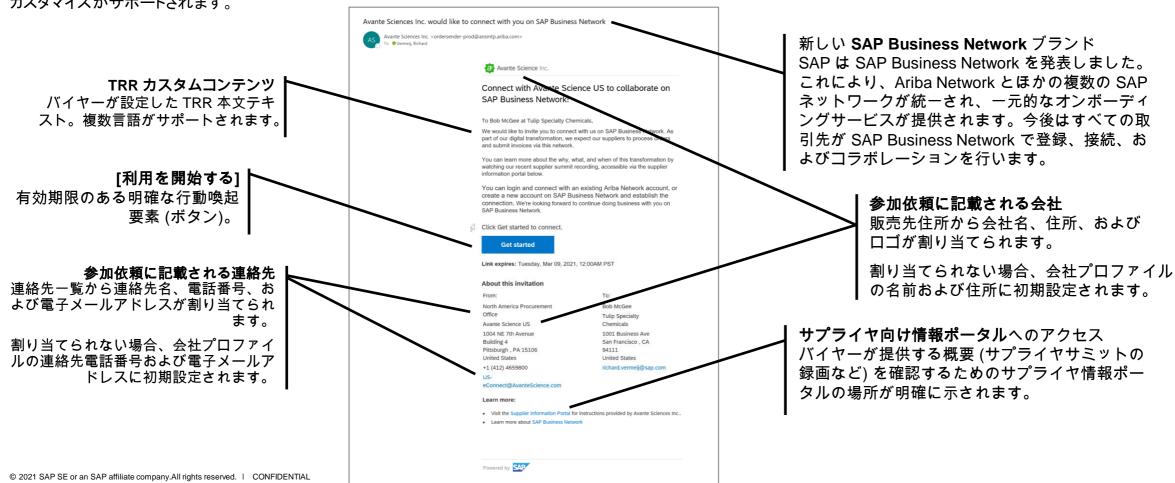


説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - カスタマイズ可能な新しい TRR レター

新しい取引開始依頼 (TRR) レターテンプレートでは、バイヤーのヘッダーロゴ、参加依頼の本文テキスト、参加依頼に記載される会社、および参加依頼に記載される連絡先の

カスタマイズがサポートされます。



7

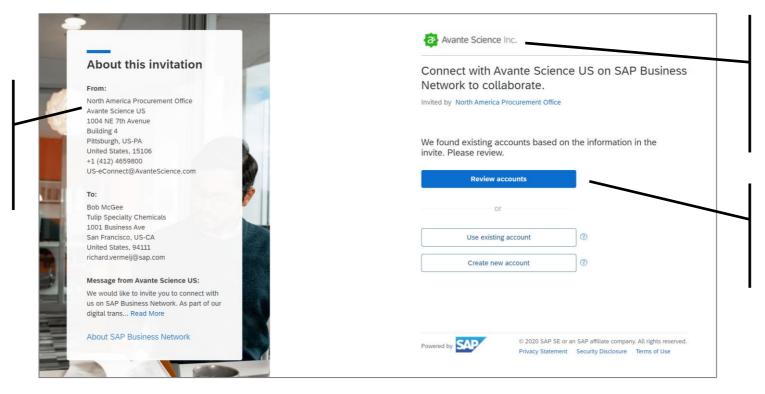
説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - 洗練された新しい登録ランディングページ (1/2)

サプライヤが [利用を開始する] をクリックすると、バイヤーのブランドが付いた、洗練された新しいオンボーディングランディングページが表示され、ユーザーがすでにアカウントを所有しているか、または会社がすでに既存のアカウントを所有しているかが自動的に識別されます。ユーザーは新しいサプライヤアカウントを作成することもできます。

登録依頼カード

ここでも、SAP Business Network への接続をサプラ イヤに依頼しているバイ ヤーチームの詳細が表示さ れます。



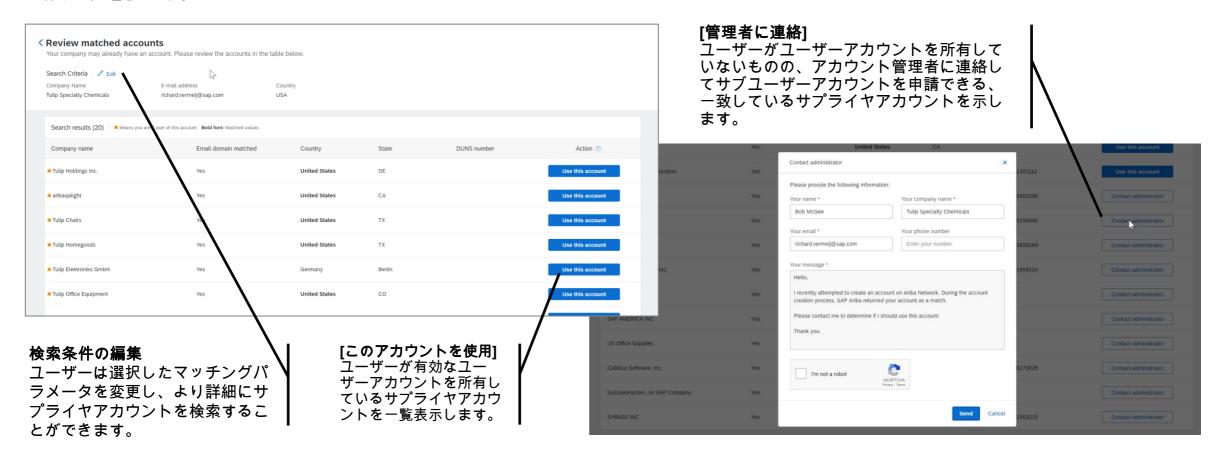
バイヤーのブランドが付い た登録ランディングページ では、SAP Business Network への接続をサプラ イヤに依頼しているバイ ヤー企業の整合性が保たれ ます。

アカウントマッチングにより、 既存のユーザーアカウントま たはサプライヤアカウント (も しくはその両方) を確認するこ とができ、不要な重複アカウ ントの作成が回避されます。

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - 洗練された新しい登録ランディングページ (2/2)

マッチングアルゴリズムでは、バイヤーへの接続に使用するユーザーアカウント (濃い青色) と会社アカウント (白色) の識別およびランク付けが行われ、新規 (重複) アカウント の作成が回避されます。

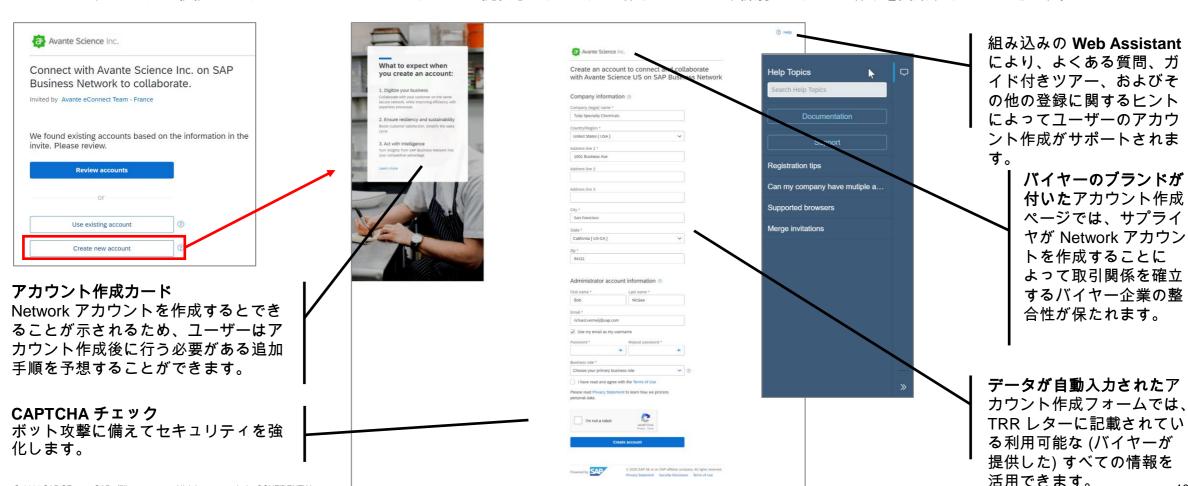


© 2021 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved. | CONFIDENTIAL

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - 新しい Network アカウント作成ページ

ユーザーは、データ入力検証チェックと Web Assistant によるガイドが提供されるアカウント作成ページから、新規アカウントの作成を開始することができます。

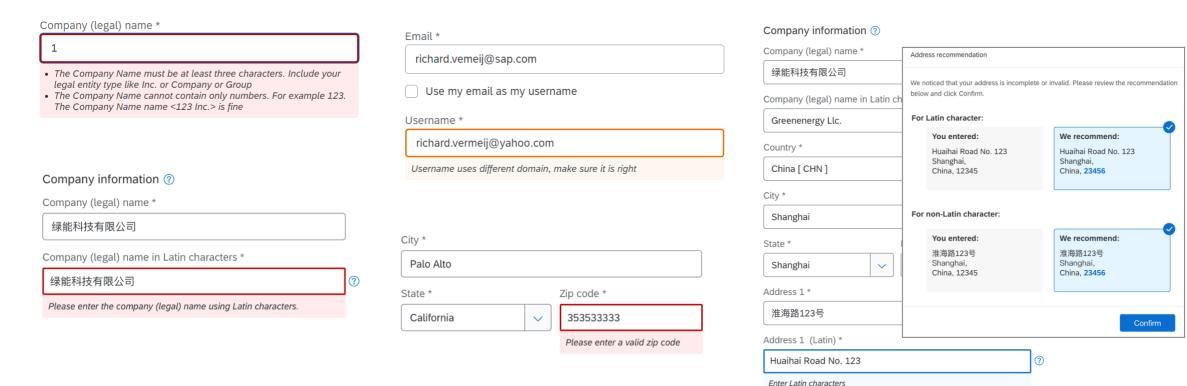


10

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - 新しい Network アカウント作成ページ: データ入力検証

Network では、アカウント作成ページで会社の正式名称、郵便番号、ユーザー名、およびパスワードに対してデータ入力検証ルールが適用されます。アカウント作成フォームでは半角英数字以外の入力が自動的に検出され、アカウント作成フォームが拡張されて国際住所バージョンを入力するためのフィールドが追加されます。入力された住所データは自動的に検証され、利用可能な場合は、クレンジングされた住所が候補として表示されます。

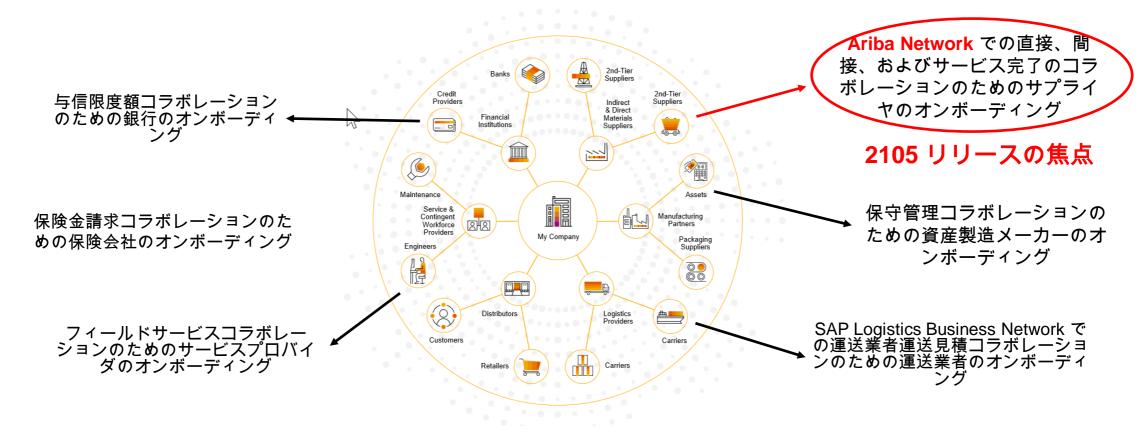


バイヤー向けの概要 1.2 SAP Business Network への名前変更

説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - Ariba Network は 2021 年 5 月 21 日より SAP Business Network の一部に

SAP のネットワーク戦略は、ソリューション名 **SAP Business Network** のもとで共通の取引先オンボーディング、ディレクトリ、ログインページ、ポータルサービス、およびコラボレーションフローと分析を提供することで、SAP が所有するネットワーク (Ariba Network、Logistics Business Network、Asset Intelligence Network、Fieldglass など) を統一することです。2105 リリースでは、Ariba Network バイヤーからサプライヤに送信される TRR レターの SAP Business Network オンボーディングサービスが強化されました。



説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - TRR オンボーディングの現在のブランド

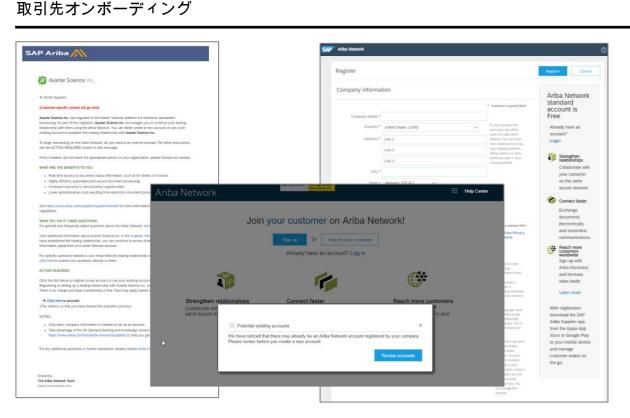
TRR レターからランディングページ、アカウント作成ページ、サプライヤログインページに至る TRR のサプライヤ登録の現行ブランドは、SAP Ariba/Ariba Network です。

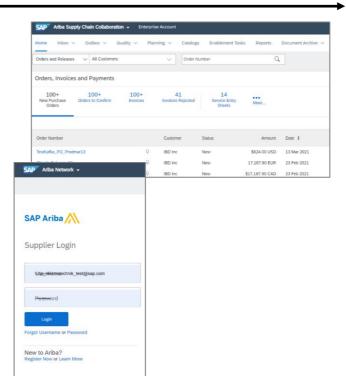


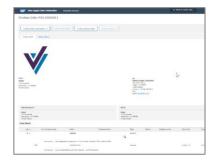
SAP Ariba

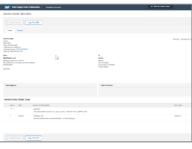
ログイン ポータル

オーダーや請求書など









取引先オンボーディング

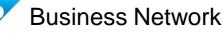
説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - オンボーディングエクスペリエンス、ログイン、およびポータルにおけるブランドの変更

2105 リリースでは、エンドツーエンドのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスのソリューションブランド名が「SAP Ariba Network」から「SAP Business Network」に変更されます。





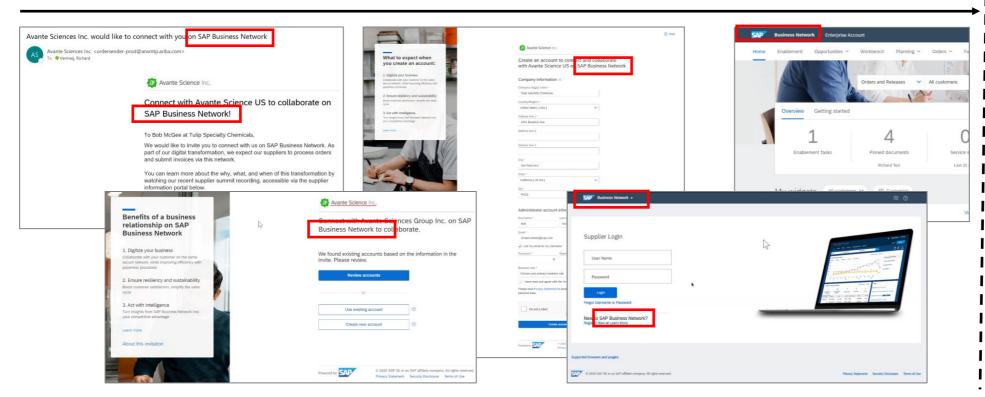


ログイン

ポータル



オーダーや請求書など







説明: 取引開始依頼レターのサプライヤオンボーディングエクスペリエンスを強化

機能の詳細情報 - よくある質問

SAP Business Network とは何ですか。

SAP Business Network は、分断されたサプライチェーンを、障壁をなくしてデータを一元化するコラボレーティブかつインテリジェントな統一ネットワークに変革するために役立つクラウドベースのコラボレーションソリューションです。

統一ネットワークにより、1 つのディレクトリからすべての取引先に接続し、共有されたデータおよびワークフローを使用してコラボレーションを行い、ネットワーク全体のインテリジェンスを適用して、ビジネスを適応させ改善するための意思決定を導くことができます。

https://www.sap.com/products/business-network.html

SAP Business Network は新規または別のネット ワークですか。このネットワークを所有または実行する のは Ariba 以外のチームですか。

いいえ。SAP Business Network は、SAP の統一ネットワーク構想の一貫としてすべての Ariba Network サプライヤが移行される取引先ポータルの新しいソリューション名です。ポータルの背後にある取引ネットワークのブランドは Ariba のままであり、引き続き Ariba Inc. (ドイツを拠点とする SAP SE の完全所有子会社) が運用します。

名前が SAP Business Network に変更されるエクスペリエンスと Ariba Network のまま維持されるエクスペリエンスを具体的に教えてください。

名前が SAP Business Network に変更されるサプライヤエクスペリエンスは、エンタープライズアカウントのTRR レターベースのオンボーディングと、すべてのエンタープライズアカウントおよびスタンダードアカウントのサプライヤポータルホームページおよびワークベンチの2つです。2Q21リリースでは、ほかのすべてのNetwork エクスペリエンスのブランドは引き続き Ariba Network または Ariba Supply Chain Collaborationです。

サプライヤログインページは変更されますか。

Network 機能へのログイン方法の観点では変更はありません。ログインページのブランド名のみが Ariba からSAP に変更されます。

現在の Network ログイン認証情報は変更されますか。 いいえ。すべてのサプライヤユーザーは、現在の Ariba Network ユーザー認証情報を引き続き使用することも、 「パスワードを忘れた場合」を使用してリセットすることも できます。

Ariba Network ID は変更されますか。

いいえ。2105 リリースでの名前変更によってサプライヤの Network アカウント (Ariba Network ID) が変更されることはありません。

別の使用条件または新しい使用条件に同意する必要はありますか。

いいえ。SAP Business Network の新しい取引先ポータルは Ariba Network の機能強化としてリリースされるため、既存の使用条件 (ToU) は引き続き効力を有し、新しい取引先ポータルサービスのすべての使用に適用されます。

データプライバシーポリシーの権利に対する変更はありますか。

いいえ。SAP Business Network の新しい取引先ポータルは Ariba Network の機能強化としてリリースされるため、既存のデータプライバシーポリシー (DPP) は引き続き効力を有し、新しい取引先ポータルサービスのデータ処理および使用に適用されます。

現在の Ariba Network サプライヤ登録に対する変更はありますか。

いいえ。既存のスタンダードおよびエンタープライズ (Premium/Bronze/Silver/Gold/Platinum) パッケージへ の変更はありません。すべての料金体系は以前と同じ です。

更新日は2021 年 3 月 23 日です。よくある質問の最新版については、https://go.ariba.com/faq-name-change を参照してください。



フォローをお願いし ます。









www.sap.com/contactsap

© 2018 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、 SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/copyright をご覧ください。

